

ヨッカバイとはなんだったのか

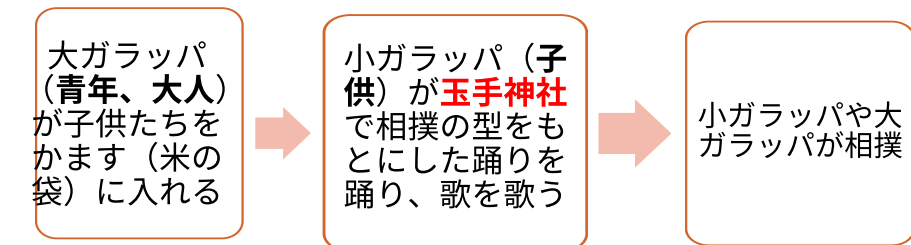
地域社会における役割と廃止の背景

法文学部 法経社会学科 四ヶ所楓

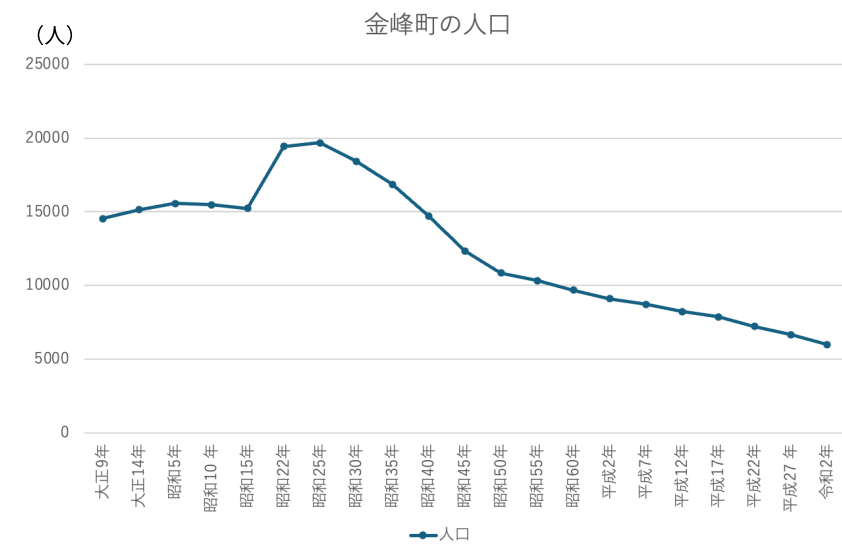
ヨッカバイとは？

鹿児島県南さつま市金峰町高橋地区で行われる水難事故に子供が遭わないようにするための水神様由来の奇祭。正式名称は「**高橋十八度踊り**」8月22日開催。
今年廃止が決定。

【ヨッカバイの大まかな流れ】



金峰町（高橋）の人口と担い手対象の推移



ヨッカバイの変化と廃止



地域の人々へのインタビュー

一部の方々への負担が大きい。普段の仕事も忙しいし。自分の仕事と並行しながらは厳しい。

昔のヨッカバイは勢いがあって、本当に怖かった。家にまで上がり込んできた。今は人もいない。なくなっても仕方ない。続けろって言って無理がある。

高橋保育園としては、ぜひ続けていきたい。子供達のためにも。子供たちの怖がっている姿が面白い。今のヨッカバイは優しい。一緒に写真も撮ってくれる。でも地域の人たちに頼むのも気が引ける。

本当にあらゆることにおいて人がいない。今のヨッカバイは保育園しか行っていない。保育園があるなら残るんじゃないか。

小ガラッパの相撲の練習は厳しくて先輩に教わったが厳しくて怖かった。大ガラッパをやっている時は楽しかった。みんな子供や女の子が隠れている場所を教えてくれた。続ける方法の議論はなかった。総会では反対意見はなかった。

大ガラッパが夜具を着ることから「夜具被り」と言われ、鹿児島弁で訛りヨッカバイに

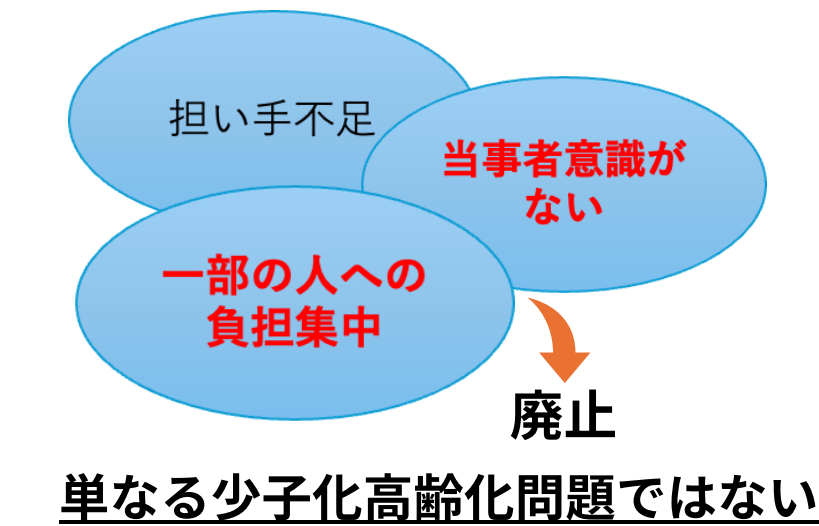
考察

ヨッカバイの変化・廃止

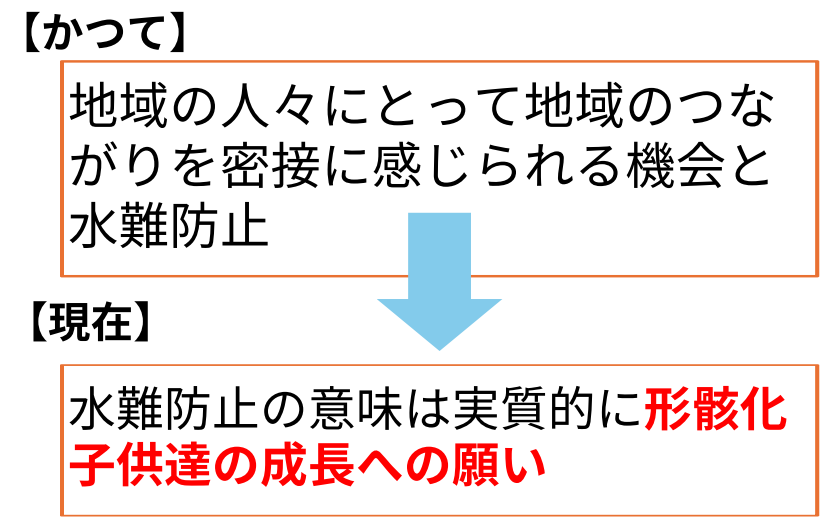
- 時代の流れと少子高齢化により変化よりも**それぞれの組織の事情による廃止**
- なくなって残念であるが積極的保存の意思はそこまで
- 若者が都市部に働き出すことで**ヨッカバイのサイクルが回らない**

結論

ヨッカバイの変化と廃止



高橋においてヨッカバイとは？



謝辞

本研究実施にあたり、ご協力いただいた皆様に深く感謝いたします。
高橋地区総会議長様 / 高橋地区文化部長 堀之内誠様 / 高橋保育園 前園長上籀様 / 高橋保育園様
南さつま市教育委員会様 / 歴史交流館金峰様 / 南さつま市高橋地区の皆様

ヨッカバイの意義

- 地域にとってあって当たり前のもの。決まり。
- 地域にとってのヨッカバイの意味は薄れている。パフォーマンス化
- 現在のヨッカバイは**保育園のための行事？**

【今後のヨッカバイ】

- 来年の開催は**未定**（廃止の可能性大）
- 高橋保育園が独自の実施？
⇒今後、保育園がなくなったら？
- 外部の介入の必要性**
- 学校教育（金峰学園）の一環で実施され残る？
ヨッカバイの存続には、さらなる変化が必要

参考文献一覧

- 金峰町郷土史編纂委員会（1987）『金峰町郷土史 上巻』鹿児島県金峰町
- 金峰町教育委員会（1985）『金峰町遺跡及び文化財（第4集）』金峰町教育委員会
- 金峰町教育委員会（1963）『金峰郷土史 第1集』金峰町教育委員会
- 鹿児島県「各回国勢調査時の市町村別人口の推移」鹿児島県公式ホームページ URL：https://www.pref.kagoshima.jp/（閲覧日：2025年11月24日）
- 総務省統計局「平成7年～令和2年 国勢調査結果」e-Stat URL：https://www.e-stat.go.jp/（閲覧日：2025年11月22日）

【写真提供】
・高橋地区文化部長・堀之内誠氏（撮影・提供）